

はじめに

『第20回学生生活調査報告書』が刊行されました。今回、調査方法の大幅な見直しを行いました。第1は、これまで隔年だった学生生活調査を毎年実施することにしました。第2は、質問用紙を郵送して回答票を回収していたやり方を改め、Web上で質問・回答してもらうことにしました。第3は、学部学生、大学院学生、留学生と別々に実施していた調査を一本化しました。第4は、質問項目を毎回質問する定例的なものとその時々課題、という2本立てにしました。

調査結果の公表時期も、10月21日の創立記念日頃とし、大学の内外に「今の早大生」を紹介することにしました。また、調査のための調査に終わらせるのではなく、学生の皆さんの意見・要望等はできるだけ大学の施策に反映させ、学生サービスに資する生きた調査にしたいと考えております。

本書には、随所に、「今の早大生」を浮き彫りにする箇所が見受けられます。一例を挙げますと、早稲田というと課外活動が盛んな大学というイメージが強いと思いますが、「大学生活であなたが大切だと思うことは何ですか？」との質問に対し、「部・サークル等での活動」は意外と回答が少なく16.5%でした。これは本学の課外活動が低調というのではなく、早稲田の風潮が大きく変わってきていることを物語っています。

本書が読み物として読まれることを、そして、早大生に対する理解を深める一助となることを望んでいます。

最後になりましたが、本報告書の作成にあたって、アンケートに回答した学生のみなさんのご協力に深く感謝します。稲葉 敏夫（第2章）、太田 正孝（第4章）、大野 高裕（第1章、第6章、まとめ）、大藪 泰（第3章）、畑 恵子（第5章）の各先生には分析・執筆のご協力を賜りました。また、職員の方々にも大変お世話になりました。お礼を申し上げます。

2001年10月21日

早稲田大学学生部

学生部長 紙屋 敦之